

市政を問う

平成20年第3回定例会

一般質問質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項および答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

農業の振興策

および動植物の保護策について

市民サイド **森 喜行**

●**農業の振興策**…減り続ける農地を守りたいという立場で質問しました。市内の農家が肥料や資材の高騰にあえいでいる事、野菜スタンド等の盗難多発の現状も指摘し、少量多品種生産に伴う新しい作物の開発、温暖化対策、漬物生産など、異業種とのコラボレーションによる付加価値の創出、野菜スタンドごとの「一押し情報」のPR強化、盗難に対する啓発や防止対策への援助など、市内の農業の特徴である直売り方式を念頭においた農業振興策を求めました。

●**動植物の保護策について**…都市化、農地の減少等、市内の多くの動植物にとって棲みにくい世の中になってきました。中には絶滅が心配されるものもあります。もはや、抽象的な「緑の保全」では追いつかなくなっています。継続的かつ的確な行動・生態調査の上にたち、生息環境の保全に務め、個別具体的な保護策に着手するよう求めました。なかでも特に今回、ウグイス、カッコウ、モズについてピックアップ、これらが里山の象徴であり、耳から来る季節感として市民福祉の観点からも大切にすべきだと主張、そのために営巣地であるヤブの保全について取り上げ、旧庁舎の屋上にヤブの聖域を創るなど具体的な方策を求めました。温暖化による南方系植物定着化の調査、対応も求めました。

高齢者家庭への火災警報器

の設置助成を

自由民主党市議団 **新海 栄一**

問) 野川上流の整備について今後の予定は都市建設部長) 野川の国分寺市部分は老朽化したコンクリート柵渠で流下能力が不足している。21年度以降に幅員23mで整備を予定している。

問) ぶんバス本多ルート、本町地区にバス停を都市建設部長) この区間は300m以上バス停が無い。ご指摘通りなるべく早く新設したい。

問) 国分寺街道の中央線ガードの進捗状況は都市建設部長) ガード工事は9月に終了する。その後、道路工事を進め平成22年3月完了予定。

問) 北口再開発がいよいよスタートする。工事中の交通対策について商店会と話し合いを都市開発部長) 工事中のアクセス道路は3・4・5号線を想定し、この道路西端に回転部を設け動線を確保したい。工事に際しては商店会の皆様、近隣の皆様と十分な話し合いをしたい。

問) 高齢者家庭への火災警報器の設置助成を福祉保健部長) 火災時の避難が困難な方に対して、所得を勘案して助成していきたい。

問) 本多公民館図書館の空調設備の改修整備を教育部長) 空調設備は設置より25年たっているので、来年度全面的に改修していきたい。

問) 本多公民館東側道路がスクールゾーンになっていない。早急に指定してもらいたい都市建設部長) ご指摘道路は早急に指定したい。

今こそ行政の

災害対応力向上を求む!

公明党 **さの久美子**

1. **安全・安心のまちづくりについて**
 (1) 震災時、ブロック塀は倒壊すると危険であり、救助活動の障害となる為、増やさない方策と危険な塀に対する対策が必要。市) 建築指導課での指導・助言と各課で連携しつつ、生垣造成助成事業の周知をはかりたい。(2) 新庁舎での震災対応訓練を実行すべき。市) 今年度内に実施するよう計画する。(3) 災害時職員参集確認システムとして携帯メール配信システム導入の検討を。市) 今年度からすすめていきたい。

2. **環境問題について** 地球温暖化防止活動推進は、自らの意思でCO₂削減に取り組むという視点が大事である。まず、市長が環境家計簿の実践など率先して実行すべき。中小企業へは省エネという視点で商工会に働きかけを。市長) 提案を参考に組みたい。市) 企業へは商工会・環境部と連携して啓発していく。

3. **女性のがん対策について** 東京都の女性がんの高死亡率をうけ、国分寺市としても受診率アップが急務である。子宮がんの受診医療機関の拡大と「子宮頸がんは予防できるがんである」との広報をすべき。市) 受診機関を増やすことや検診内容の見直し等の検討をしていきたい。
 他にエコキャップの実施状況、西国分寺駅北口駐輪場の進捗状況について質問しました。

放課後子どもプラン

実施後一年の現状と課題

国分寺・生活者ネットワーク **多良京 京子**

問) 現状では児童の急病・大ケガ等の対応は主にその学校のPTAで組織された安全管理員だけで担うことになっている。医療機関への受診や保護者への連絡はスキルもある学校側の協力を要請し、支援体制の再構築をすべき。

教育部長) 学校長会等を通じて依頼していく。

問) 校庭だけでなく学校図書館も常時開放し、その日の気分子どもたちが屋内、屋外の居場所を自由に選べる環境整備を進めよ。

教育部長) 各校の実態に合わせて支援していく。その他、学童保育所との連携の重要性を指摘し、今後、学童保育所指定管理者にも放課後プランへの積極的な取り組みを求めるよう要望した。

《ごみの減量化について》

問) 21年度達成予定の行動計画に掲げられた「ごみの減量目標数値」を現状は大きく下回っている。市報の広報では不十分。別冊のごみ減量特集誌の発行が効果的と考えるが、いかがか。

環境部長) 検討させていただきたい。

問) 現在、市内5校の小学校給食残渣は1箇所の拠点で堆肥化処理されている。環境学習の視点からも子どもたちの目の前で処理することが重要。10校すべての学校敷地内に堆肥化装置を設置し、学童農園や花壇等で堆肥使用を。

教育部長) 環境部と十分協議していく。

ムダ削減への努力で

信頼される市政運営を

公明党 **木島 たかし**

資源プラスチックのリサイクル) 10月の再検査の結果次第で取引拒否の可能性もあり深刻だ。その場合「年800万円→2億円の市負担(約25倍)」広報等の手段を講じ、新たな財政支出の回避を。

部長) 市報への再掲載等、改善に全力を挙げる。

事業仕分け) 外部評価者による仕分けにより、更なるムダ削減や職員の意識改革、また市民への積極的な情報公開推進のために、早期導入を。

部長) 行革推進の有効手法。来年度実施したい。

市民との情報共有) 民間と協同で「くらしのガイド」を作成すれば、市負担ゼロで全戸配布も可能(民間業者の広告掲載収入でカバー)実施を。

部長) かつては全戸配布していたが財政上、困難になった。情報共有化に向け早急に検討する。

集中豪雨への対策) 予測が困難なゲリラ豪雨に対する備えの必要性がある。初動体制の見直しや、野川流域への注意看板等の安全対策強化を。

部長) 関係機関との連携を強化し改善に努める。

JR国分寺駅のエレベーター、エスカレーター) 工事状況と西国分寺駅への工事の今後の予定は。

部長) 順調に進んでいる。市補助対象部分は20年度内に完成予定。終了後、西国分寺駅に着手。

違法看板対策) 一部で悪質なケースがある。都条例の運用を含めルール遵守への対応の強化を。

部長) 夜間パトロール等徹底し取り組んでいく。

青色防犯灯

・学校窓ガラスの耐震性、他

公明党 **松長 たかし**

問) 犯罪率の減少効果の高いと言われている青色LED防犯灯の設置をしてはどうか?

答) 試行も含めて検討する。

問) プロフィールサイトが原因で様々な事件が起きている。学校及び家庭での教育が非常に重要になってきている。国では青少年ネット規制法が成立した。市としての考えは?

答) さまざまな機会をとらえて取り組んでいく。

問) 連雀通りの多摩湖線の踏切拡幅工事が、当初の予定より完成時期が延びている。市として強く働きかけをお願いする。

答) 信号機を新設し、今年中を目途にやる。

問) 公園と公園をつないでいく退避路の安全性の確保は重要である。市としての取り組みは?

答) バリアフリーに関する基準に基づいて、段差の解消や急勾配の緩和、視覚障害者用の誘導ブロックの設置等を行うように心がけていく。

問) 旧庁舎の中に公文書が山積みになっている。これは条例を逸脱している。市の対応は?

答) 22年度以降の電子化につなげていきたい。

問) 小・中学校に使用されている窓ガラスは、震災時に飛散し鋭利な凶器と化し、児童・教員等が怪我をする可能性がある。市内の小・中学校の現在の状況はどうなっているのか?

答) 実態調査をし、対応していく。